

- 東浦町では、森林環境譲与税を活用して、国産材を活用した木製品を導入していく方針。
- 令和5年度においては、国産材を用いた木製品を、公園と学校に設置した。
- 令和6年度においても、引き続き公共施設の木材利用を推進する。

□ 事業内容

木製品の購入

- ・ 既存の公共施設が劣化したため、国産材を活用した木製ベンチ（公園）と木製書架等（学校）を設置。

【事業費】11,869千円（うち譲与税5,272千円）

【実績】木製ベンチ4基（木材使用量計0.03981m³）

あずまや補修工事（木材使用量計0.3m³）

直立書架4台（木材使用量計0.3331m³）

教室用背面ロッカー18台及び収納棚24台
（木材使用量：71.016m³）

□ 取組の背景

- ・ 子どもの頃から木製品などを通して木を身近に感じることで、人と木や森のかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことを目的とする。



（木製ベンチ）



（木製収納棚）

□ 工夫・留意した点

- ・ 国産材の木材を使用することで、暖かみが感じられるようにした。
- ・ 木製品を利用してもらうことにより、木材の魅力への気づきを促す。
- ・ 公共施設において、木材を利用することにより、木材利用の普及啓発、需要拡大に努める。

□ 取組の効果

- ・ 児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めることにつながったと考えられる。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額	5,272千円
②私有林人工林面積（※1）	27ha
③林野率（※1）	5.1%
④人口（※2）	49,596人
⑤林業就業者数（※2）	0人

※1：「2020農林業センサス」より

※2：「R2国勢調査」より